

『当面のストラテジー』(河合レポート)

Youtube放映

(毎週火曜20:00~約40分予定)

<https://www.youtube.com/user/kabucom8703>

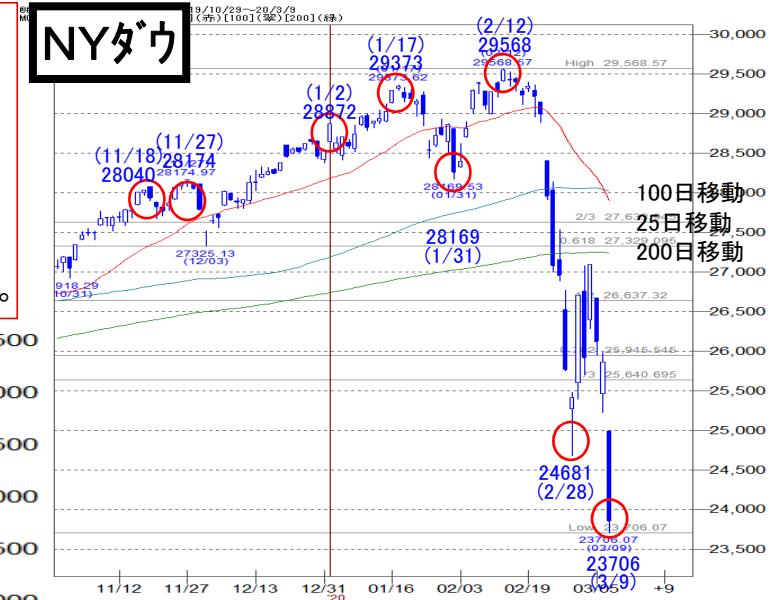
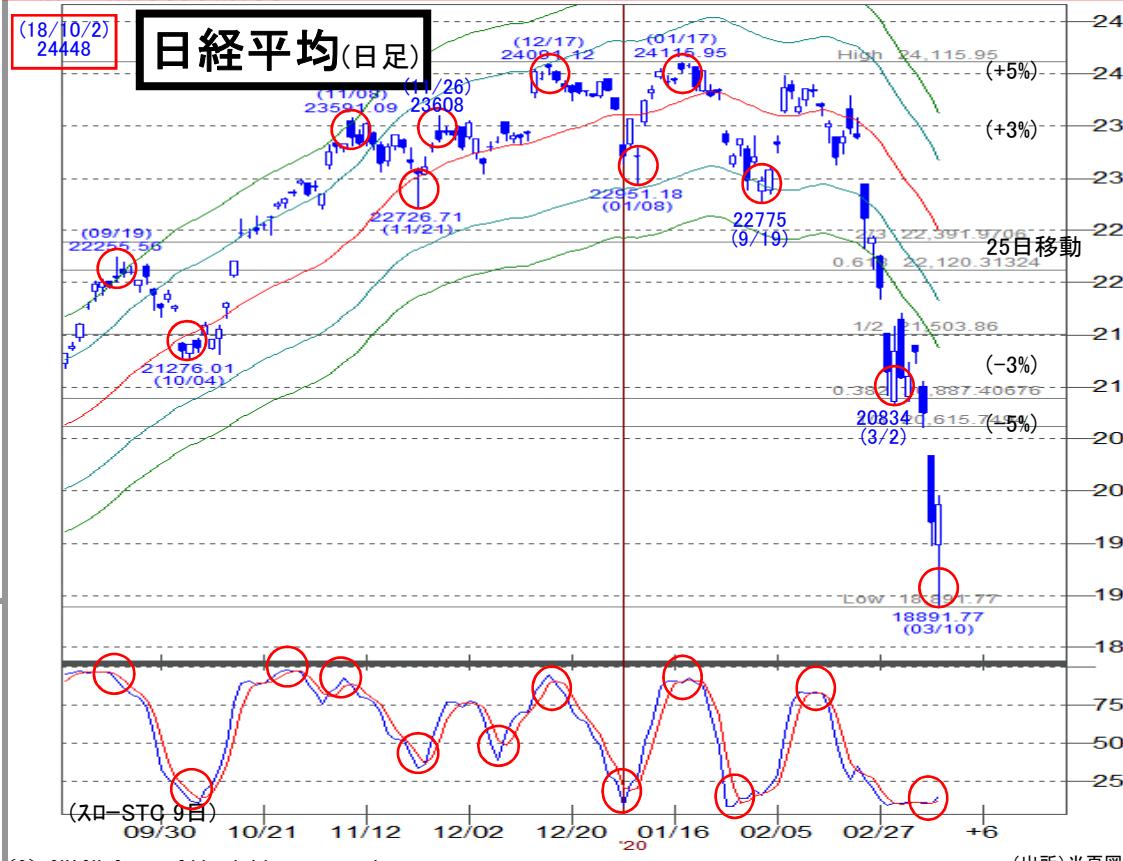
au Kabucomストラテジーレポート

[2020年3/9~3/13 No.0529]

~(今どこ?)相場は、悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観と共に成熟し、幸福感の中で消えていく~

●外部環境

【当面のマーケットポイント】3/9-3/13は、前週末の原油急落をキッカケとした米国市場の混乱の余波からのスタート。週初には日米とも歴史的暴落に見舞われた。NYダウの歴代下落率ランクの記録1位と2位を一気に今回の調整が塗り替えた。今回の新型コロナウイルスの感染拡大が2つの砂上の楼閣を再認識させた。一つは各国の封じ込め作戦によるヒトモノの停滞が世界景気後退に繋がるリスクの再認識だ。もう一つはその景気後退に対して金融政策の打つ手が残り少ないとある。FRBは先週3日に0.5%の利下げを実行した。2015年末から2018年末まで3年かけて9回利上げでカードを昨年3枚・今年で2枚使った。残りの4枚の効果も恐らくこの3月4月で使い果たすこととなろう。再びゼロ金利に戻ることは債券市場が示している。加えて原油価格の30ドル割れはシェールオイル会社の破綻を示すだろう。もうはまだなり。



(出所)当頁図表及びコメントは各種データ・資料よりQUICK Workstation描画にてauカブコム証券作成。

一当資料のご利用にあたり、お客さまにご確認いただきたい事項を巻末に記載しています。ご確認のほど、よろしくお願ひ致します

～(今どこ?)相場は、悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観と共に成熟し、幸福感の中で消えていく～

●投資環境 ポイント

【マーケット環境の現状と行方】

環境面からのストラテジー

(ポイント)

新型コロナ相場のダウントレンド継続中。
2/24NYダウ1031ドル安が号砲となって始まつたばかり。(2/18プチアップルショック一時390円安23133円まで下落が予兆として再確認)
景気鈍化と企業業績悪化が2月から始まつたこと。1-3月期は悪化の始まり、4-6月期もその余波から下練りが続こう。

☆コロナ調整波ダウントレンド「いつまで」「どこまで」
・(いつまで)1月17日高値24115円を起点と
すると長期8月末～最短4月下旬まで調整
→2012年以降の調整波

①長期約7ヶ月半(15/6/24高値20952円～16/2/12安値14865円)▲29.1%
②(最長12ヶ月(15/6/24高値20952円～16/6/24安値14864円)▲29.1%
③短期約3ヶ月(18/10/2高値24448円～18/12/26安値18948円)▲22.5%

・(どこまで)日経平均、昨年8月安値20110円
及び2万円大台割れにより、下値メドは最大17100円、N値で18700円想定

→19556円、16年6月安値から18年10月高値の上げ幅の半値押し

→19155円、18/12/25終値ベース安値

→18948円、18/12/26ザラバベース安値

◎→18700円、上記調整波③の下落率の応答値(N値)

→18525円、16年6月安値から18年10月高値の上げ幅の0.618倍押し

→18200円、アベノミクス12/11/14～上げ幅0.318倍押し

○→17100円、上記調整波①②の下落率の応答値

(ストラテジー)

・まずはフラッシュクラッシュの連鎖安が拡がることからバリュエーションなど理知的な下値は不問。換金売り・投売りが収まるまでは、最低限落ちるナイフは掴みに行かないこと
・特にPERや配当利回りをベースに下値云々という理性が働くのはまだまだ先。

・新興市場はリスク回避。信用不安の流れが出た時の鉄則は、新興と名のつくものから資金は流出すること(新興銘柄、新興国など)

・トレードはショートを中心に組み立てること。景気後退や業績悪化、さらに信用不安からの調整は「長く・深い」ことを念頭に

・キャッシュポジションが一番強いことを念頭に。(資産防衛・マインド面安寧)

・差しあたって、金(ゴールド)はOK。NY金1672.4p+4.4、2/24高値1676.6をまもなく高値更新。金ETFなどはバイ&ホールド可。

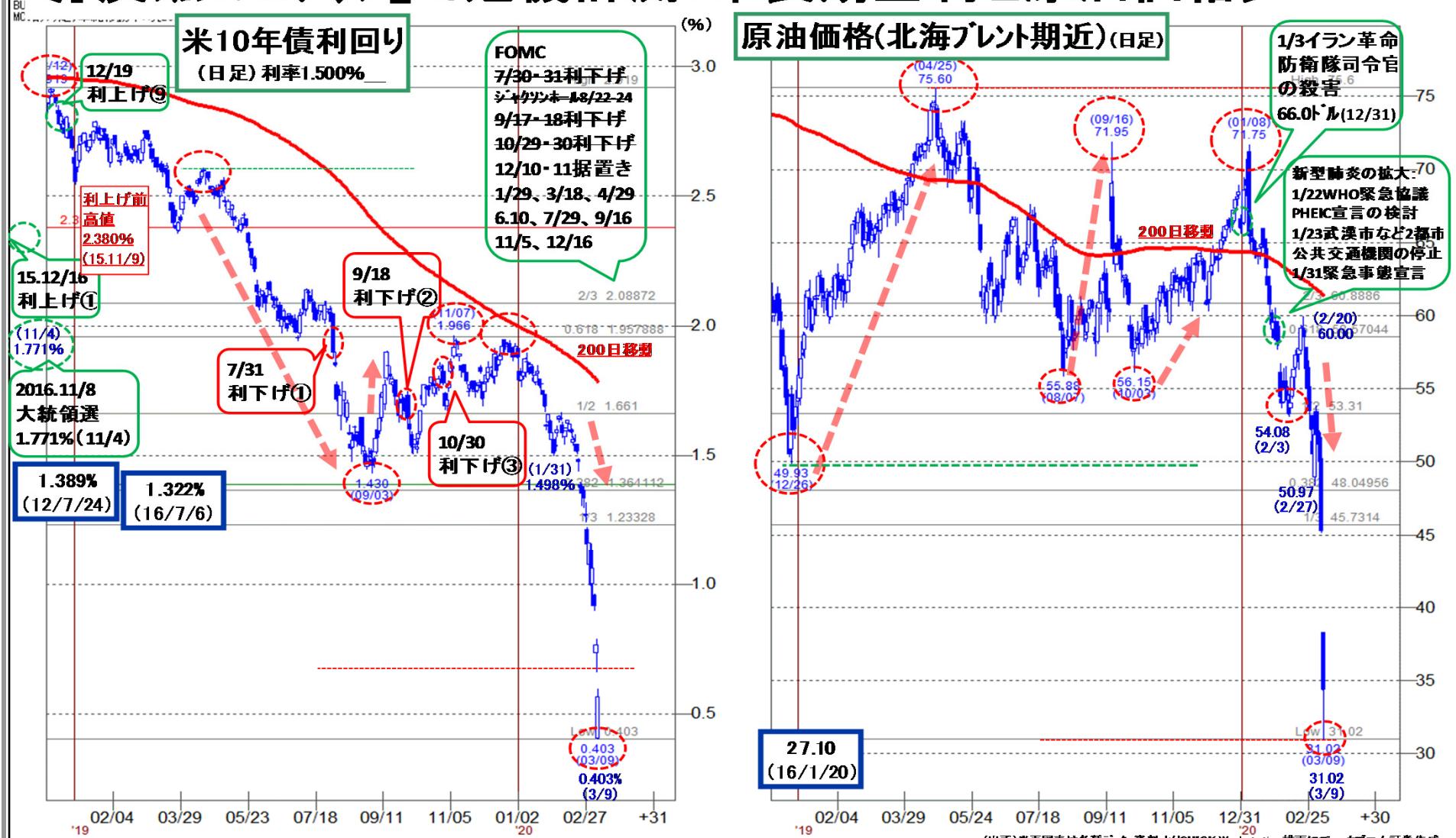
(出所)当頁図表及びコメントは各種データ・資料よりQUICK Workstation描画にてauカブコム証券作成。

～(今どこ?)相場は、悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観と共に成熟し、幸福感の中で消えていく～

●投資環境
ウォッチ
(ウォーニング
ポイント)

〔『炭鉱のかナリア』で危機計測：米長期金利と原油価格〕

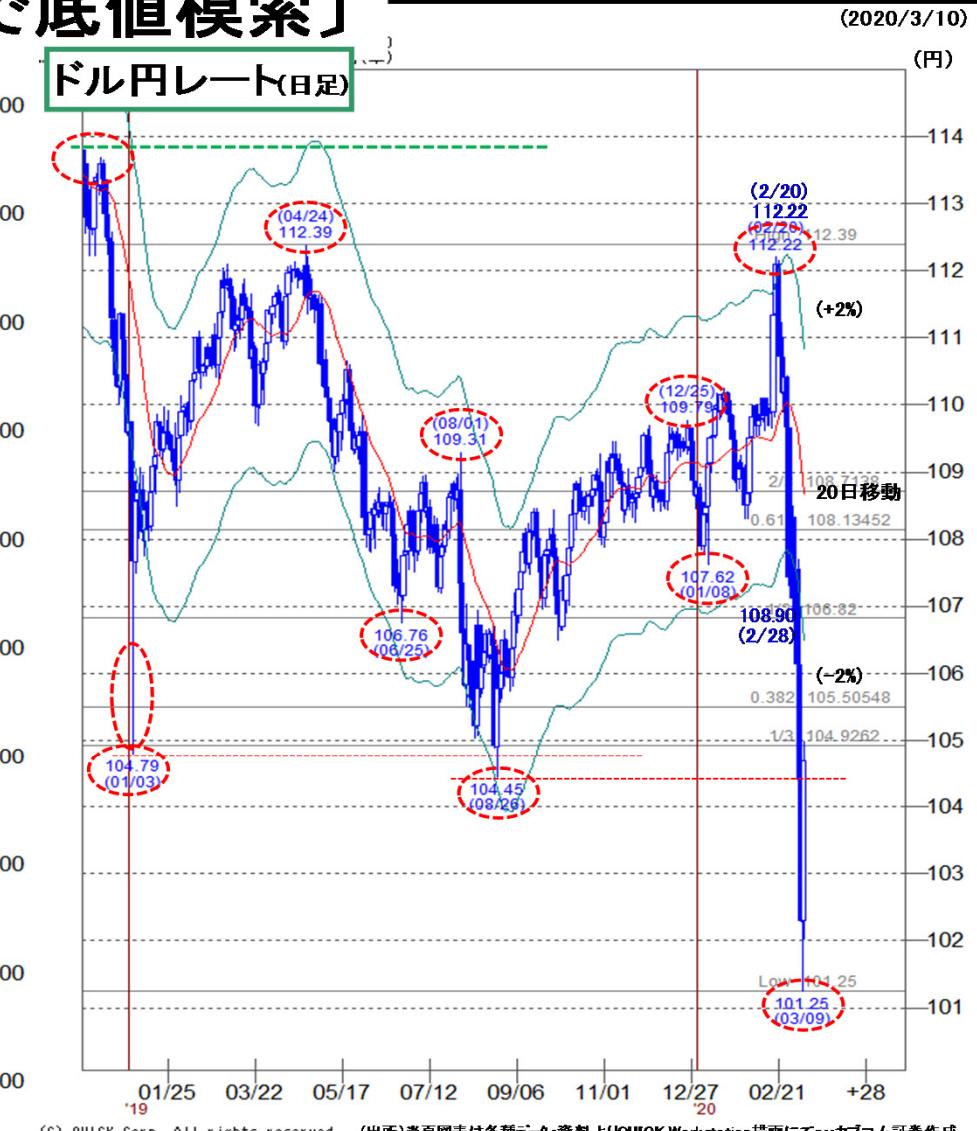
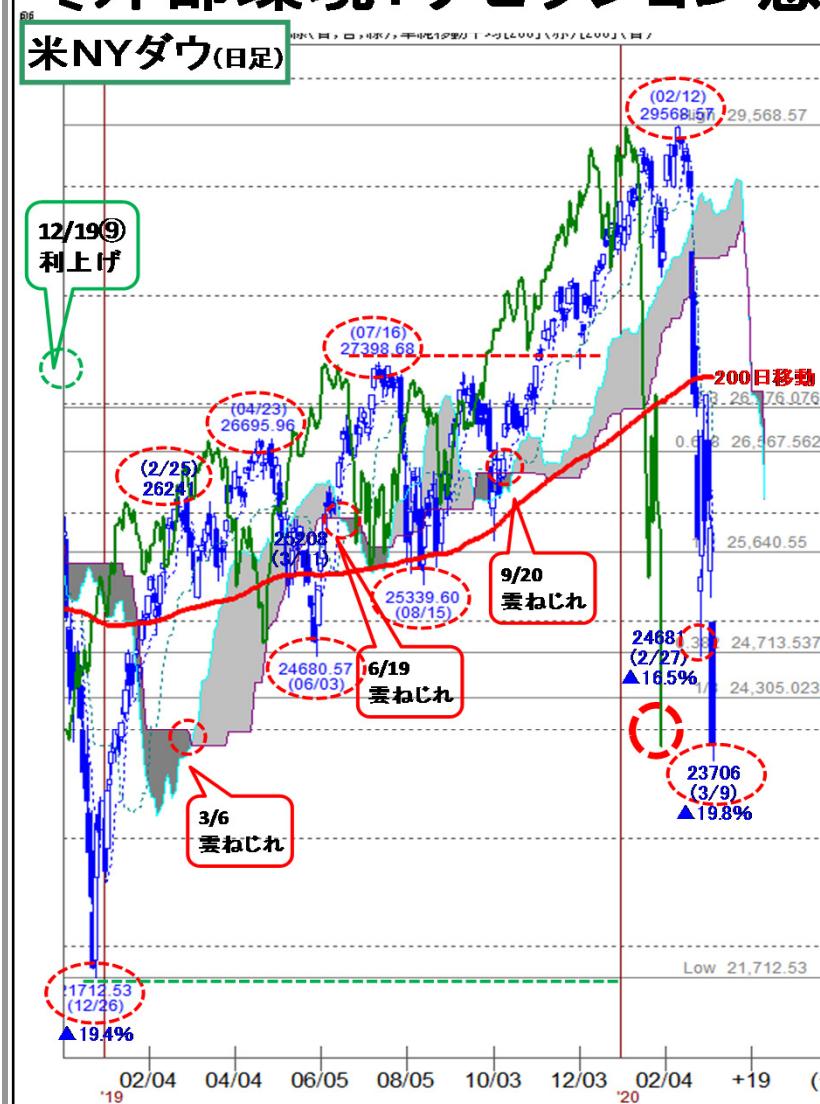
(2020/3/10)



~(今どこ?)相場は、悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観と共に成熟し、幸福感の中で消えていく~

●投資環境
ウォッチ
(ウォーニング
ポイント)

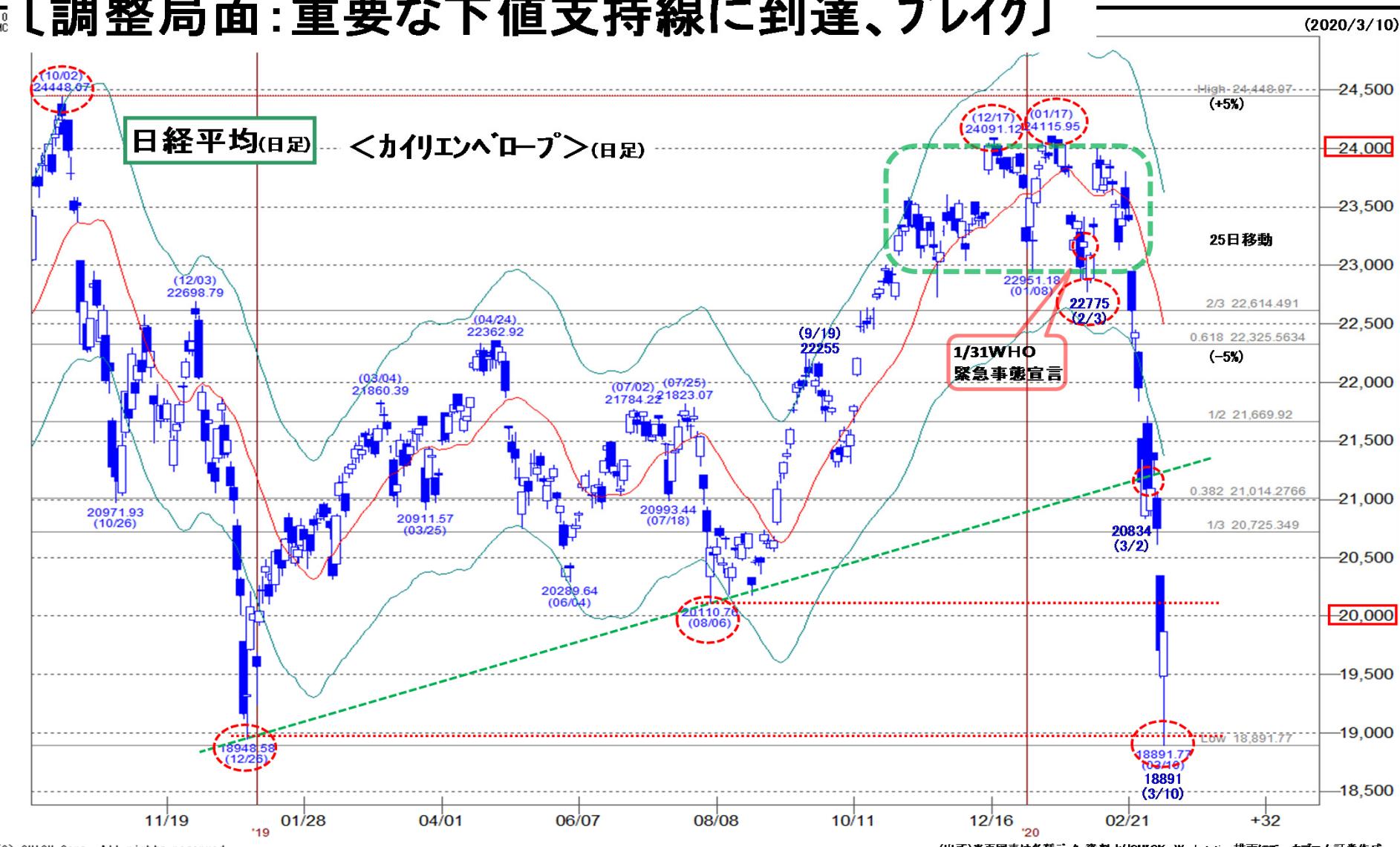
〔外部環境:リセッション懸念で底値模索〕



～(今どこ?)相場は、悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観と共に成熟し、幸福感の中で消えていく～

●投資環境
ウォッチ
(ウォーニング
ポイント)

【調整局面:重要な下値支持線に到達、ブレイク】



~(今どこ?)相場は、悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観と共に成熟し、幸福感の中で消えていく~

●投資
アイディア

【半値・八掛・二割引は生きているか? Vs. 下げ渋りは?】

半値・八掛・二割引に接近

[決算]	株価 [3/9]	52週内 高値	半値・八掛け 二割引	到達率	経常利益 [百万円、伸び率%]					
					(前々期)	(前期実績)	(伸び率)	(今期予想)	(伸び率)	(来期予想)
1 5406 神戸鋼	鉄鋼	3月期	331	903	289	14.5%	472.4%	34,629	-51.3%	-25,000
2 3765 ガンホー	情報・通信	12月期	1,610	4,320	1,382	16.5%	-22.4%	28,617	7.3%	25,000
3 5707 東邦鉛	非鉄金属	3月期	1,314	3,490	1,117	17.7%	4.9%	969	-92.6%	-10,700
4 5411 JFE	鉄鋼	3月期	790	1,992.50	638	23.9%		209,313	36.9%	32,000
5 7201 日産自	輸送用機器	3月期	389.2	966	309	25.9%	-13.2%	546,498	-27.2%	75,000
6 4680 ラウンドワン	サービス業	3月期	713	1,750	560	27.3%	75.3%	11,220	9.3%	11,600
7 3656 KLab	情報・通信	12月期	613	1,497	479	28.0%	3.0%	1,625	-67.5%	2,000
8 9603 HIS	サービス業	10月期	1,686	4,100	1,312	28.5%	-0.8%	17,089	-12.4%	2,800
9 5202 板硝子	ガラス・土石	3月期	399	965	309	29.2%	50.1%	22,730	2.6%	3,000
10 3668 コロプラ	情報・通信	9月期	800	1,930	618	29.5%	-52.7%	1,655	-72.9%	2,800
11 2427 アウトソシン	サービス業	12月期	645	1,502	481	34.2%	25.4%	13,478	3.4%	19,150
12 8698 マネックスG	証券・商品	3月期	187	425	136	37.5%	705.9%	1,790	-79.3%	4,000
13 4004 昭電工	化学	12月期	1,954	4,365	1,397	39.9%	180.0%	119,293	-33.3%	47,000
14 7453 良品計画	小売業	2月期	1,306	2,881	922	41.7%	19.2%	45,861	-0.3%	38,000
15 4902 コニカミノル	電気機器	3月期	523	1,149	368	42.2%	-0.4%	60,138	22.4%	20,000
16 7261 マツダ	輸送用機器	3月期	627	1,370	438	43.0%	23.4%	116,788	-32.2%	70,000
17 7014 名村造	輸送用機器	3月期	188	404	129	45.4%	-106.8%	-3,872	80.9%	-15,500
18 2181 バーソルHD	サービス業	3月期	1,253	2,691	861	45.5%	2.8%	43,982	25.3%	40,800
19 5401 日本製鉄	鉄鋼	3月期	988.6	2,081	666	48.5%		248,769	-8.5%	-350,000
20 8714 池田泉州HD	銀行業	3月期	147	309	99	48.7%	-31.3%	9,698	-31.7%	5,000
21 8242 H2Oリテイ	小売業	3月期	750	1,572	503	49.1%	11.7%	21,376	-11.9%	16,200
22 7915 NISSHA	その他製品	12月期	711	1,450	464	53.2%		-4,696	-163.7%	-2,700
23 8418 山口FG	銀行業	3月期	502	1,022	327	53.5%	2.2%	33,430	-30.1%	40,000
24 7211 三菱自	輸送用機器	3月期	320	649	208	54.1%	1131.3%	119,850	8.8%	20,000
25 5214 日電硝	ガラス・土石	12月期	1,585	3,205	1,026	54.5%	-41.9%	15,373	-22.5%	15,000

下げ渋りの銘柄は?

[決算]	株価 [3/9]	52週内 高値	半値・八掛け 二割引	到達率	経常利益 [百万円、伸び率%]					
					(前々期)	(前期実績)	(伸び率)	(今期予想)	(伸び率)	(来期予想)
476 4901 富士フイルム	化学	3月期	5,005	5,890	1,885	165.5%	1.6%	212,762	7.6%	230,000
477 7532 パンパシHD	小売業	6月期	1,804	2,122	679	165.7%	25.7%	68,240	19.3%	72,000
478 6971 京セラ	電気機器	3月期	6,601	7,764	2,484	165.7%		140,610	8.2%	165,000
479 4523 エーザイ	医薬品	3月期	8,026	9,433	3,019	165.9%	33.2%	89,454	16.5%	112,000
480 2802 味の素	食料品	3月期	1,780	2,088	668	166.4%	-6.8%	54,202	-32.9%	88,000
481 4151 協和キリン	医薬品	12月期	2,438	2,858	915	166.6%	31.5%	44,492	-39.4%	63,000
482 2875 東洋水	食料品	3月期	4,145	4,855	1,554	166.8%	-8.3%	26,169	-8.4%	29,500
483 8113 ユニチャーム	化学	12月期	3,450	4,035	1,291	167.2%	-1.5%	69,538	-24.1%	98,000
484 1379 ホクト	水産・農林	3月期	1,736	2,027	649	167.6%	-7.9%	4,610	14.3%	4,630
485 3659 ネクソン	情報・通信	12月期	1,612	1,867	597	169.8%	67.8%	121,968	3.9%	100,000
486 2897 日清食HD	食料品	3月期	8,110	9,360	2,995	170.8%		31,166	-16.1%	44,000
487 4452 花王	化学	12月期	8,018	9,251	2,960	170.8%	1.4%	210,645	1.6%	220,000
488 3391 ツルハHD	小売業	5月期	12,300	14,170	4,534	171.3%	12.9%	43,313	4.1%	45,200
489 6849 日本光電	電気機器	3月期	3,160	3,630	1,162	172.0%	3.2%	15,867	9.4%	16,000
490 4768 大塚商會	情報・通信	12月期	4,585	5,230	1,674	174.0%	8.4%	63,706	29.3%	64,600
491 7733 オリンパス	精密機器	3月期	1,892.50	2,148	687	175.3%	22.7%	20,117	-73.8%	87,000
492 9504 中国電	電気・ガス業	3月期	1,359	1,531	490	177.4%	57.5%	12,685	-58.7%	36,000
493 4519 中外薬	医薬品	12月期	11,020	12,380	3,962	178.2%	25.2%	207,893	71.2%	250,000
494 9433 KDDI	情報・通信	3月期	3,242	3,451	1,104	193.6%	6.6%	1,010,275	5.8%	1,020,000
495 9437 NTTドコモ	情報・通信	3月期	2,990	3,164	1,012	195.3%		1,002,635	-12.2%	838,000
496 8036 日立ハイテク	卸売業	3月期	7,980	8,250	2,640	202.3%	3.1%	64,758	16.5%	60,000
497 7251 ケーピン	輸送用機器	3月期	2,566	2,642	845	203.5%	31.0%	24,759	-8.8%	12,500
498 3938 LINE	情報・通信	12月期	5,290	5,410	1,731	205.6%	-81.5%	-51,616	-1638.9%	-35,000
499 2871 ニチレイ	食料品	3月期	2,833	2,887	924	206.7%	5.3%	29,864	-2.6%	30,500
500 4217 日立化	化学	3月期	4,550	4,615	1,477	208.1%	-10.0%	40,500	-17.2%	29,000

(注)母集団:全上場4129社、うち日経500種採用銘柄対象。【抽出条件】52週内高値から「半値・八掛け・二割引」の株価に対して、直近株価の到達率の接近順位、上位と下位をランキング。

経常利益今期予想は日経予想へ→。来期予想はQC予想、株価・データ等3月9日現在。(auカブコム証券 作成) 参考:日経平均、直近安値18891円・直近高値24110円・半値・八掛け・二割引 7715円・到達率244.9%

~(今どこ?)相場は、悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観と共に成熟し、幸福感の中で消えていく~

- ・当セミナーは、情報提供を目的としており、特定の商品の推奨や売買に関する断定的判断の提供を目的とするものではありません。
- ・当セミナーにおいて、信用取引、先物・オプション取引や外国為替証拠金取引(FX)を含む当社取扱商品の勧誘を目的とした商品説明やご案内等、および証券口座開設のご案内をさせていただくことがあります。
- ・auカブコム証券のお取扱商品へのご投資の際は、各商品に所定の手数料や諸経費等をご負担いただく場合があります。各商品等は価格の変動、金利の変動、為替の変動等により投資元本を割り込むおそれがあり、また商品等によっては投資元本を超える損失(元本超過損)が生じるおそれがあります。
- ・各商品の手数料等は、商品、銘柄、取引金額、取引チャネル等により異なり多岐にわたるため、具体的な金額または計算方法を記載することができません。手数料等の詳細は、当社ホームページ(<https://kabu.com/cost/>)をご覧ください。手数料等には消費税が含まれます。
- ・自動売買を含むすべての注文は、必ず約定するものではありません。
- ・当社お取扱商品の手数料等およびリスクの詳細については、契約締結前交付書面、上場有価証券等書面、目論見書、約款・規定集および当社ホームページの「ご投資にかかる手数料等およびリスクについて」(<https://kabu.com/company/pressrelease/info/escapeclause.html>)や取引ルール等をよくお読みの上、投資の最終決定はご自身のご判断とご責任でおこなってください。

<現物株式取引(チ株®含む)に関するご注意事項>

- ・株式は、元本や利益を保証するものではありません。株式は、金利の変動、為替の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。

・現物株式の手数料の概要は次のとおりです。<現物株式>最大3,690円(お電話での注文は、自動音声応答:100円、オペレーター経由:2,000円が別途加算)

<チ株®>約定金額×0.5%(最低手数料48円)(税抜)(お電話での注文は、オペレーター経由:2,000円(税抜)が別途加算)

<信用取引に関するご注意事項>

- ・信用取引の売買等においては、株式市場を取り巻く需給により株価が変動し投資元本を割り込むことがあります。株式の価格には、金利・為替・商品価格・天災等の株式市場全体に影響を及ぼす外部要因や発行会社の経営・財務状況の変化および発行会社に対する外部変化が影響を与えます。また、取引量の少ない株式の場合は、お客様ご自身のお取引により価格が変動することにも考慮が必要です。

- ・信用取引をおこなうには、売買代金の30%以上かつ30万円以上の保証金の差し入れが必要であり、保証金の最大約3.3倍のお取引が可能です。信用取引は、差し入れた保証金を上回る金額の取引が出来ると、損失の額が差し入れた保証金を上回る(元本超過損)おそれがあります。

- ・信用取引には取引期限があり、取引期限を超えてのお取引はできず、所定の期日までに反対売買がなされない時は、予め定められた方法により決済されますが、上場廃止、株式併合、株式分割、権利処理等により、返済期限が前倒しになる場合があります。

- ・信用取引の委託保証金率および代用有価証券の掛目は当社独自の判断によって変更する場合があります。委託保証金率および代用有価証券の掛目は当社独自の判断によって変更することができます。

- ・制度信用取引と一般信用取引(長期、売短®)では、返済の期限等について異なる制約があります。合併や株式分割等の事象が発生した場合や、株式の調達が困難となった場合等に返済期限を設定することができます。一般信用取引(長期、売短®)の建玉について株式の調達が困難となった場合等は、一定の催告期間を設定した上で、当社が定める期日に変更する場合がありますが、緊急かつやむを得ない事由がある場合には、催告期間を置かずして期日を変更します。

- ・一般信用「売」はすべての上場銘柄に対応しているものではありません。一般信用(長期、売短®)売建可能銘柄は日々、貸付有価証券の調達状況等により銘柄および株数に変更がございます。

- ・権利落日の取引所基準価格は、前日終値から一株当たりの予想配当額分だけ理論上値下がりします。

- ・権利付最終日の大引け時点で現物買いおよび信用売建玉をしている場合、現物については税金が差し引かれた配当を受け取り(配当金の約80%)、一般信用売建玉については配当調整金をお支払い(配当金の100%)いただきます。つきましては、配当金の約20%の差額分をご負担いただくことになりますので、予めご注意ください。

- ・保有する株式信用取引の評価損や決済損の状況により委託保証金の価値が最低維持率未満となった場合には、所定日時までに不足額を納める必要があります。

- ・信用取引に際して、品受/品渡事務手続き料・信用管理費・名義書換料をお支払いいただくほか、買付けの場合は買付代金に対する金利を、売付の場合は売付株式等に対する貸株料および逆日歩(品貸料)をお支払いいただきます。

- ・品受/品渡に関する事務手続き料は、株式等の譲渡所得の費用に計上するには別途確定申告が必要となります。詳しくは、税務署、税理士等にご相談ください。

- ・信用取引の手数料および諸経費は以下のとおりです。

<手数料>無料 <買方金利>最大3.98% <売方金利>0% <貸株料>最大5.85%

<投資信託に関するご注意事項>

- ・投資信託は、元本や利益(分配金を含む)を保証するものではありません。組み入れた金融商品の値動き等により基準価額が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。

- ・投資信託は銘柄により、販売手数料とは別に信託報酬、解約手数料、その他手数料等を要するものがありますが、銘柄毎に要件・料率等が異なりますので表示できません。手数料等は、当社ホームページの目論見書および目論見書補完書面等にてご確認ください。

<指数先物取引・指数オプション取引に関するご注意事項>

- ・指数先物取引および指数オプション取引は、元本や利益を保証するものではありません。指数先物取引および指数オプション取引は、対象指数の変動等により価格が変動するため、投資元本を割り込むおそれがあります。

- ・指数先物取引および指数オプション取引をおこなうには、「SPAN®証拠金額×当社が定める掛目一ネット・オプション価値の総額」で計算される証拠金の差し入れが必要です。なお、証拠金の額は、金融商品取引所等の規制及び当社独自の判断で変更されることがあります。このため、取引金額の証拠金額に対する比率は一定ではなく、明記することができません。

~(今どこ?)相場は、悲観の中に生まれ、懐疑の中で育ち、楽観と共に成熟し、幸福感の中で消えていく~

- ・指数先物取引では、差し入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。また、指数オプションの売りをおこなった場合、予測に反する方向へ大きく向かった場合、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあり、また損失額が限定されていません。
- ・指数先物取引および指数オプション取引の手数料の概要は以下のとおりです。 指数先物取引、指数オプション取引:(<https://kabu.com/item/fop/cost.html>)
- ・**外国為替証拠金取引に関する注意事項**
- ・外国為替証拠金取引(システムFX®、店頭FX、くりっく365)は、元本や利益(スワップポイントを含む)を保証するものではありません。外国為替相場や各国通貨の金利の変動等により、元本を割り込むおそれがあります。
- ・外国為替証拠金取引は、お客さまが行う取引の金額が、その取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっているため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。
- ・外国為替証拠金取引の取引手数料は次のとおりです。なお、取引にあたっては提示する売値と買値の間には差額(スプレッド)があります。スプレッドは通貨ペアごとに異なります。<システムFX®>無料 <店頭FX>無料 <くりっく365>無料 <くりっく365ラージ>片道1枚あたり1,015円(税込)
- ・**外国為替証拠金取引をおこなうにあたって、お客さまが預託しなければならない必要証拠金は次のとおりです。**
<システムFX®>個人口座:取引金額の4%以上(レバレッジの上限は約25倍)。法人口座:金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引金額に乗じて得た額以上(為替想定リスク比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的モデルを用い算出したものです)。この証拠金額は、取引対象である為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。
<店頭FX>個人口座:通貨ペアにより1万通貨あたり25,000円~1,000,000円(当社の定める証拠金コース)または取引金額の4%のいずれか大きい額以上(レバレッジの上限は約25倍)。法人口座:通貨ペアにより1万通貨あたり25,000円~1,000,000円(当社の定める証拠金コース)または金融先物取引業協会が算出した通貨ペアごとの為替リスク想定比率を取引金額に乗じて得た額のいずれか大きい金額以上(為替想定リスク比率とは、金融商品取引業等に関する内閣府令第117条第27項第1号に規定される定量的モデルを用い算出したものです)。この証拠金額は、取引対象である為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。
<くりっく365>個人口座:東京金融取引所が定めるレバレッジ25倍上限付HV方式(レバレッジ25倍に相当する金額と、その時々の相場変動を踏まえ、ヒストリカル・ボラティリティ(HV)に基づいて算出した金額のうち、いずれか大きい方の金額を証拠金基準額とする方式)による証拠金基準額(レバレッジの上限は25倍)。法人口座:(*):東京金融取引所が定めるHV方式(その時々の相場変動を踏まえ、ヒストリカル・ボラティリティ(HV)に基づいて算出した金額を証拠金基準額とする方式)による証拠金基準額。この証拠金基準額は、過去の為替の価格変動に応じて変動しますので、レバレッジは一定ではなく明記することができません。
(*)以下に該当する法人口座については、個人口座に対する証拠金規制が適用されております。
- ・2012年4月20日以前にくりっく365取引口座開設済みの法人口座
- ・2012年4月21日以降、2017年2月24日までにくりっく365取引口座開設済みだが開設手続き時点で「証拠金規制の解除」の申込(任意)を行わなかった法人口座
- ・外国為替証拠金取引では、証拠金額が一定の割合を下回ると「ロスカットルール」により強制的に反対売買がなされますが、差入れた証拠金を上回る金額の取引が出来るため、短期的に予測に反する方向へ大きく向かった場合、証拠金の大部分あるいは証拠金の額を上回る損失が生ずるおそれがあります。
- ・**取引所株価指数証拠金取引に関するご注意事項**
- ・取引所株価指数証拠金取引(株365)は、元本や利益(金利・配当金相当額を含む)を保証するものではありません。取引所株価指数は、対象指数の変動や為替相場の変動等により取得価格に対し変動するため、元本を割り込むおそれがあります。
- ・取引所株価指数証拠金取引のお取引に際し、当社が定める証拠金を差入れる必要があります。証拠金額は、東京金融取引所が発表する証拠金基準額をもとに当社が定める額であり、証拠金額は東京金融取引所の規制及び当社独自の判断で変更されることがあります。このため、取引金額の証拠金額に対する比率は一定でなくその比率を明記することができません。
- ・取引所株価指数証拠金取引の手数料は、1枚あたり156円(税込)です。また、対象となる銘柄によっては、売り方は所有期間に応じ、所定の金利を支払う必要があります。
- ・取引所株価指数証拠金取引は、お客さまが行う取引の金額が、その取引についてお客さまが預託しなければならない証拠金の額に比べて大きい額となっているため、損失の額が証拠金の額を上回る(元本超過損)おそれがあります。
- ・お問い合わせ(当社の窓口)→お客様サポートセンター フリーコール 0120-230-230 ※携帯・PHS・050で始まるIP電話からは 03-6688-8889(※通話料は有料になります)
- ・ご意見・苦情について(当社以外の窓口)→ 特定非営利活動法人証券・金融商品あっせん相談センター 電話:0120-64-5005
- ・掲載情報は2020年3月10日現在のものです。詳細および最新情報は当社ホームページ(<https://kabu.com/default.html>)にてご確認ください。

auカブコム証券株式会社

金融商品取引業登録番号:関東財務局長(金商)第61号

銀行代理業許可番号:関東財務局長(銀代)第8号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人金融先物取引業協会

電子決済等代行業者登録:関東財務局長(電代)第18号

免責事項